



- 1. 2014年9月期決算サマリー
- 2.今後の取り組み

(ご参考資料)

事業セグメント







MES

メジャリングシステム

lest & Solution Service





テスト&ソリューションサービス

振動シミュレーションシステム (振動試験装置・複合試験装置)

DSS

Dynamic Simulation Systems





IMV CORPORATION

売上 構成比

72%

決算概要



			(1 - 77)
	14/9期 実績	13/9期 実績	コメント
売上高	7,863	6,119	自動車関連業界・航空宇宙関連業界を中心に順調に売上が推移し、 前年同期比128.5%の増収となりました。
経常利益	1,244	726	増収効果により、前年同期比171.3%の増益となりました。
純資産	3,729	3,086	当期純利益(713百万円)の計上により順調に増加しました。
フリーキャッシュフロー	149	90	設備関連の支出が増加したものの、営業収入の増加によりフリー キャッシュフローは改善しました。
売上高経常利益率	15.8%	11.9%	販売費一般管理費が上昇したものの、売上高の上昇率が上回ったため改善しました。
自己資本比率	39.9%	39.8%	当期純利益(713百万円)の計上により純資産が増加し、財務安全性 がさらに向上しました。
自己資本当期純利益率 (ROE)	20.9%	15.5%	当期純利益(713百万円)の計上により、自己資本当期純利益率はさらに改善しました。

決算概要(連結)



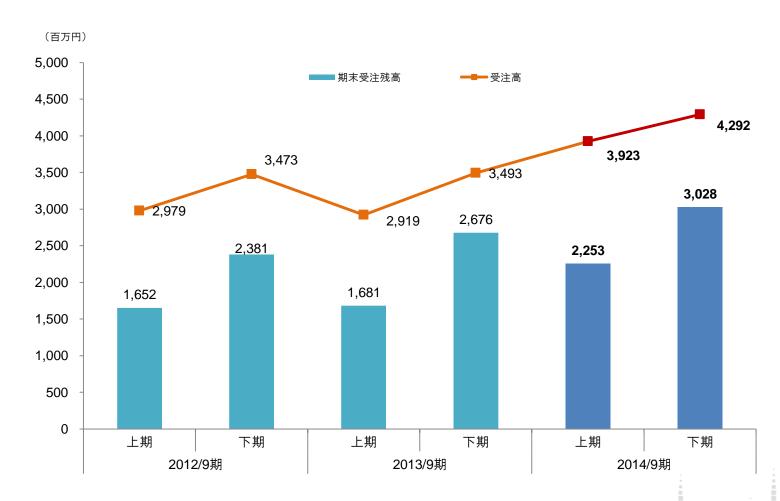
	(十位:日)					
	14/9期 実績	13/9期 実績	増減額	増減率	15/9期 予想	増減率
受注高	8,215	6,413	+1,802	+28.1%	_	_
売上高	7,863	6,119	+1,744	+28.5%	8,300	+5.5%
営業利益 (営業利益率)	1,188 (15.1%)	647 (10.6%)	+541	+83.6%	1,250 (15.1%)	+5.2%
経常利益 (経常利益率)	1,244 (15.8%)	726 (11.9%)	+518	+71.3%	1,300 (15.7%)	+4.5%
当期純利益 (当期純利益率)	713 (9.1%)	448 (7.3%)	+264	+58.9%	780 (9.4%)	+9.3%
設備投資額	312	210	+102	+48.2%	458	+46.7%
減価償却費	205	258	△53	△20.5%	231	+12.6%
研究開発費	484	294	+190	+64.6%	618	+27.6%
従業員数(人)※	223	220	+3	+1.4%	233	+4.5%

※△は損失、減少を表します。 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上高は前期比1,805百万円増収の7,863百万円となりました。増収効果により、営業利益は前期比541百万円増益の1,188百万円、 経常利益は前期比518百万円増益の1,244百万円となりました。当期純利益は前期比264百万円増益の713百万円になりました。

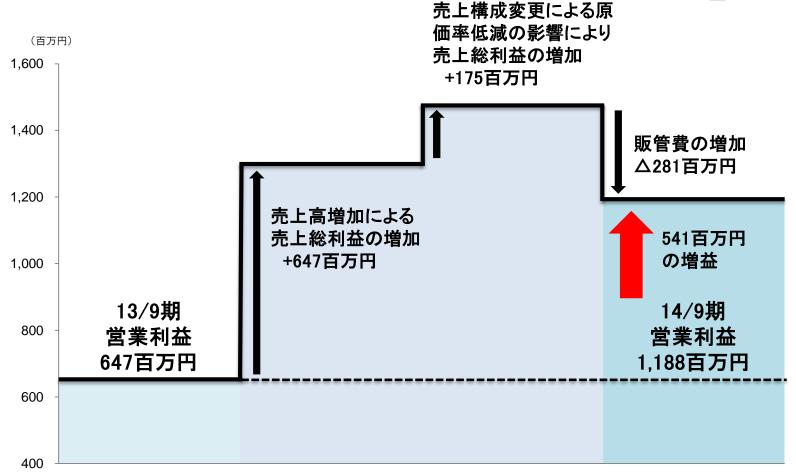
受注の状況





営業利益増減要因(連結)

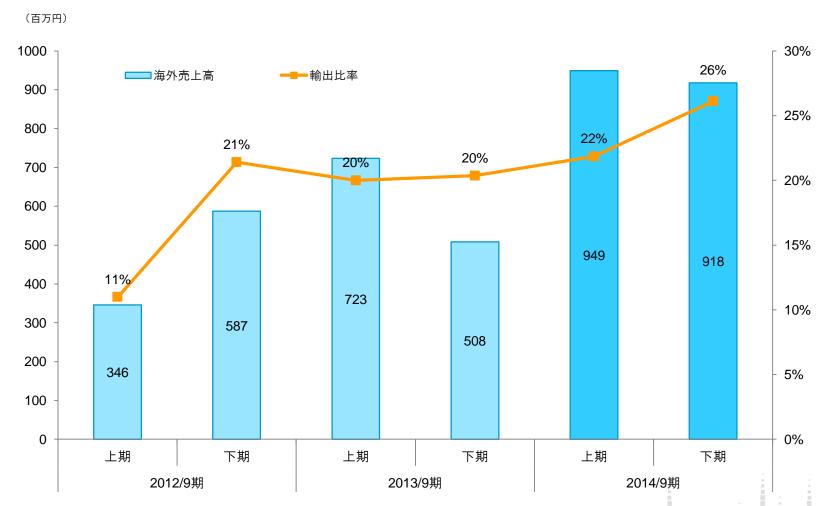




人材確保による労務費の増加、新製品開発による研究開発費の増加等により販管費が増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、営業利益は541百万円の増益となりました。

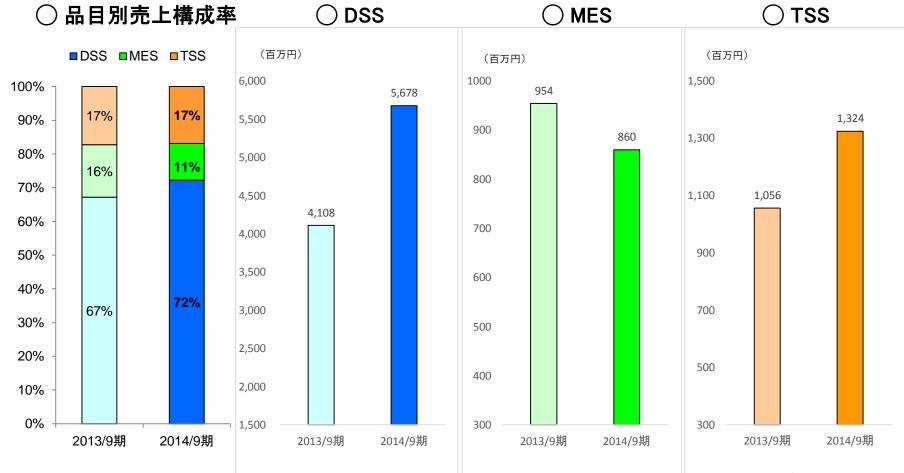
輸出比率の増減





品目別ポートフォリオ





DSSの国内、海外売上が増加し品目別売上構成率は72%となりました。また、TSSは順調に通期における過去最高売上高を更新しております。

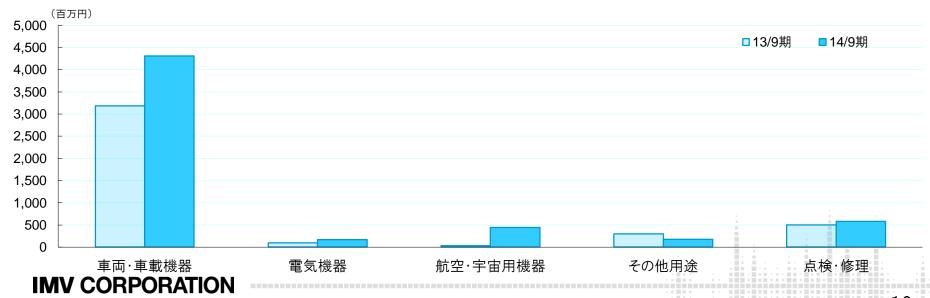
DSS ~概況~

(単位:百万円)

	14/9期	13/9期	増減額	増減率
車両・車載機器向け	4,305	3,182	+1,123	+35.3%
電気機器向け	171	96	+75	+78.1%
航空・宇宙用機器向け	444	29	+415	+1,396.6%
その他用途向け	176	299	△122	△40.9%
点検·修理	580	500	+80	+16.0%
合計	5,678	4,108	+1,570	+38.2%



- 車両・車載機器向け売上は、リチウムイオン電池、EV対応用検査装置仕様の増加に 伴い好調に推移いたしました。
- ヨーロッパ及び中国・韓国において車両・車 載機器向けのDSS売上も増加しておりま す。
- 航空・宇宙用機器向けに大型案件の売上 を計上しております。

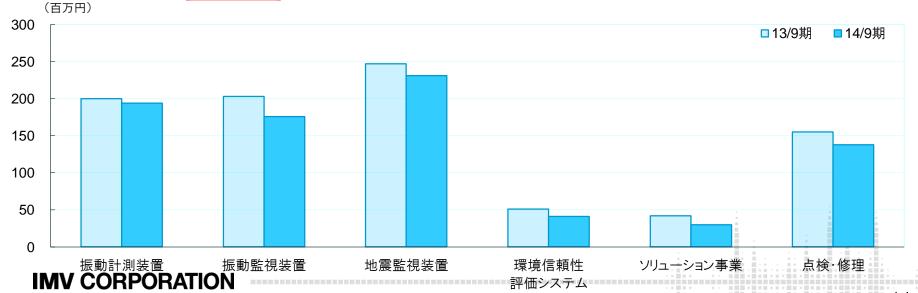


MES ~概況~

(単位:百万円)

	14/9期	13/9期	増減額	増減率
振動計測装置	194	200	△6	△3.1%
振動監視装置	176	203	△27	△13.3%
地震監視装置	231	247	△16	△6.6%
環境信頼性評価システム	41	51	△10	△20.5%
ソリューション事業	30	42	Δ11	△27.5%
点検·修理	138	155	△17	△11.0%
子会社外部売上	47	52	△4	△8.8%
合計	860	954	△93	△9.8%

メジャリングシステムの分野におきましては、中国・台湾へ地震監視装置及びベトナムへ振動計測装置の販売を行う等、販路拡大に向けた活動を行いましたが、国内における製品販売が伸び悩み、減収となりました。



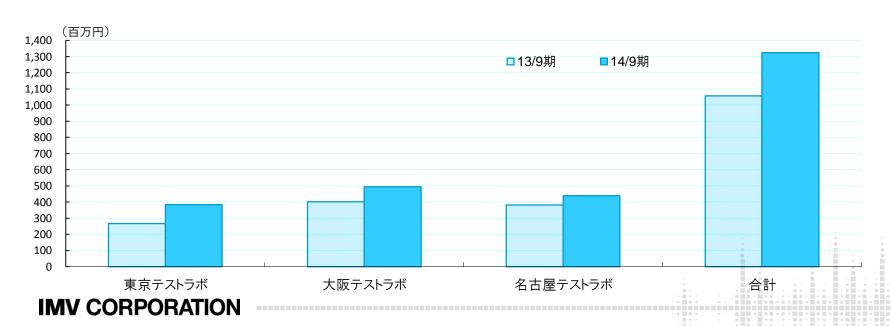
TSS ~概況~

〔	组化	ታ ·	百	万	円)
\ 	- 1-	<u> </u>	\mathbf{H}	//	1 1	/

	14/9期	13/9期	増減額	増減率
東京テストラボ	383	267	+115	+43.3%
大阪テストラボ	494	402	+91	+22.8%
名古屋テストラボ	439	382	+57	+15.1%
子会社外部売上	6	4	+1	+43.5%
合計	1,324	1,056	+267	+25.3%



- 東京テストラボは、前連結会計年度に設備増強した耐震用試験が順調に推移。
- 大阪テストラボは、建機関連業界を中心 とした大型試験機の受託試験、鉄道車両 用機器向けの試験が順調に推移。
- 名古屋テストラボは、自動車関連業界の HV・EV関連等の試験が引き続き好調。



業績の見通し(連結)



(単位:百万円)

	(44.43)					
	15/9期 予想	14/9期 実績	増減額	増減率		
売上高	8,300	7,863	+436	+5.5%		
営業利益 (営業利益率)	1,250 (15.1%)	1,188 (15.1%)	+61	+5.2%		
経常利益 (経常利益率)	1,300 (15.7%)	1,244 (15.8%)	+55	+4.5%		
当期純利益 (当期純利益率)	780 (9.4%)	713 (9.1%)	+66	+9.3%		
設備投資	458	312	+146	+46.7%		
減価償却費	231	205	+26	+12.6%		
研究開発費	618	484	+133	+27.6%		
従業員数(人)※	233	223	+10	+4.5%		
1株当たり配当金(円)※	6.00	6.00	_	_		

[※] 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

^{※14/9}期の配当金につきましては、2014年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。



- 1. 2014年9月期決算サマリー
- 2.今後の取り組み

(ご参考資料)



Agenda

with great initiative

新製品開発

事業領域拡大

市場拡大

人材の確保と教育

最新鋭 Aシリーズ振動試験装置





コピー品の駆逐

(安い人件費の物作りには追随しない)

Non Price Valueの追求

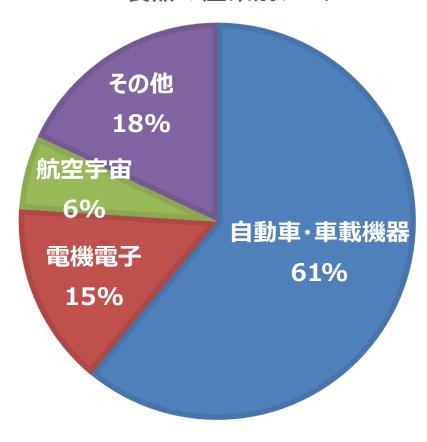
- 空冷最大機65kNの投入
- ・ 全機種CEマーク対応
- ・ 材料の見直し→鋳物から鍛造へ
- ・ 独自のアイデアによる構造変更→支持機構・静圧軸受
- ・ 生産プロセスの見直し→機械化によるバラツキの管理
- 信頼されるメンテナンスとモニタリング機能の充実



DSSビジネストレンド



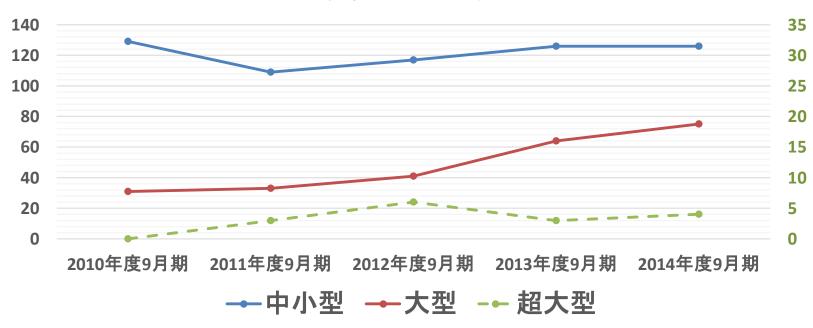
DSS製品の産業別シェアー



試験機は大型化の傾向







新テストラボ 上野原サイト(山梨県)





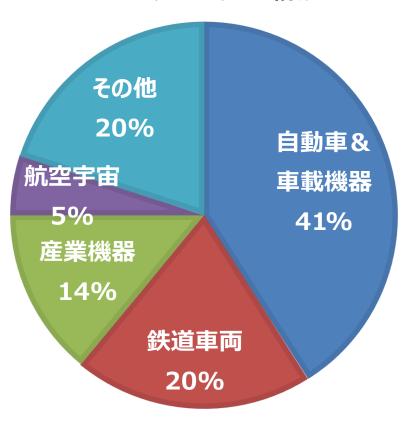
敷地	約 5,000m²
床面積	約 2,200m²

Lot 1	[-	ー般振動試験ラボ
Lot I	I /	バッテリー試験ラボ
Lot I	Π į	広張スペース

TSSビジネストレンド



テストラボの売上構成



増加傾向にある試験

- バッテリー(特に車載用)
- 航空・宇宙・防衛装備品
- 電力用機器

MES新製品 I



小型高性能振動計測装置 HM-0013



地震波や低周波振動を3軸同時計測可能な小型高性能 振動計測装置。

新開発加速度センサモジュール搭載でサーボ式振動計と 同等レベルの高精度振動計測が可能。

- 3軸・小型・高精度
- ▶ 簡単な多チャンネル化機構
- 低ドリフト・温度補正機能内蔵 高精度クロックタイムスタンプ
- ▶ 2Gと6Gの2モード対応
- 防塵防水

機能

■4台接続 ・・・・・・・・・ 振動レベルの差を一目で確認

■同期トリガ …… 完全同期による多点振動計測が可能

■低周波数計測 …… 長周期振動の計測が可能

■DC 安定化 …… 地すべり検知に必要な傾斜計測が可能

■水平器搭載 ………… 設置地点の水平状態を確認

■オプション ---------- 多彩なユーザ I / F に対応可能









用途(ヘルスモニタリング)

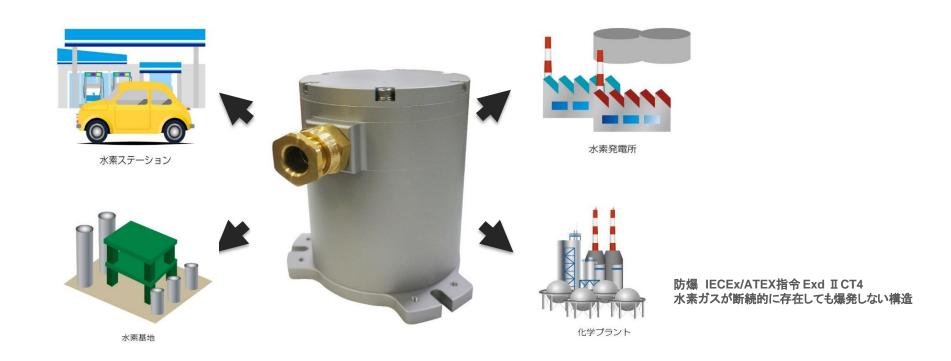
- 1. 橋梁
- 2. トンネル
- 3. ビル・住宅
- 4. エレベータ・タワー
- 5. 地すべり検知

MES新製品 Ⅱ



水素防爆型地震監視システム

【水素エネルギー社会の需要開拓】



まとめ



	DSS	TSS	MES
新製品開発	- Aシリーズ投入	- 特殊試験機 - 電気特性試験	- 防爆(水素)地震計- プラント向け振動監視計etc.投入
事業領域拡大		- バッテリーテスト	- インフラモニタリング市場
市場拡大	- アメリカ	新ラボ(上野原)建設電力向け需要の取込	- 海外 - 水素エネルギー社会
人材確保と教育	新卒(内定):6名キャリアー採用:3名IMV University		



本日はありがとうございました。

今後、一層のご支援、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長 小嶋 成夫

ありがとうございました



代表取締役会長 小嶋 成夫

代表取締役社長 岡本 二朗

経営企画本部長代行 濱里 一也

■ お問合せ先

IR窓口:経営企画本部経理部 IR担当 坂本

TEL: 06-6478-2565 FAX: 06-6478-2567

E-MAIL: imvir@imv.co.jp http://www.imv.co.jp

〇免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。



- 1. 2014年9月期決算サマリー
- 2.今後の取り組み

(ご参考資料)

貸借対照表の概要(連結)



(単位:百万円)

	14/9期末	13/9期末	増減額		14/9期末	13/9期末	増減額
流動資産	6,295	4,827	+1,468	流動負債	4,766	3,798	+967
現金預金	1,700	1,317	+383	仕入債務	1,355	1,047	+308
売上債権	2,718	1,669	+1,049	短期有利子負債	2,194	1,884	+309
棚卸資産	1,602	1,621	△19	その他流動負債	1,215	866	+348
その他流動資産	274	219	+54	固定負債	855	877	△22
固定資産	3,056	2,935	+120	長期有利子負債	557	581	△24
有形固定資産	2,812	2,754	+57	その他固定負債	298	295	+2
無形固定資産	29	25	+3	負債合計	5,621	4,676	+945
投資その他資産	214	154	+59	純資産合計	3,729	3,086	+643
資産合計	9,351	7,762	+1,588	負債·純資産合計	9,351	7,762	+1,588

資産の部:現預金が383百万円増加し、売上債権は1,049百万円増加いたしました。

負債の部: 仕入債務が308百万円増加し、短期有利子負債は309百万円増加いたしました。

長期有利子負債は、24百万円減少いたしました。

純資産の部:純資産は643百万円増加いたしました。

キャッシュフロー計算書の概要(連結)



(単位:百万円)

		14/9期	13/9期	増減額
1	営業活動によるキャッシュ・フロー	463	261	+201
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	△313	△170	△143
1)+2)	フリーキャッシュフロー	149	90	+58
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	203	57	+146
4	現金及び現金等価物に係る換算差額	23	41	Δ18
5	現金及び現金同等物の増減額	375	189	+186
6	現金及び現金同等物期首残高	1,111	921	+189
7	現金及び現金同等物期末残高	1,487	1,111	+375

営業CF: 税金等調整前当期純利益1,199百万円及び仕入債務の増加247百万円等の増加要因が、売上債権の増加1,045百万円等の減少要因を上回ったことにより、463百万円の増加となりました。

投資CF: 有形固定資産の取得による支出281百万円等により、313百万円の減少となりました。

フリーキャッシュフロー:営業収入の増加等により、フリーキャッシュフローは149百万円となり、前年同期比58百万円増加いたしました。

財務CF: 短期借入金の純増額350百万円等の増加により、203百万円の増加となりました。

会社概要



商 号 IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION

会社設立 1957年(昭和32年)4月17日

資本金 4億6481万円

従業員数 223名(2014年9月30日現在連結)

年間売上高 78億6,359万円(2014年9月期 連結)

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ市場

証券コード 7760

決算期 9月30日



沿革

2012



1957 | 株式会社国際機械振動研究所(旧社名)を設立

1988 東京テストラボ開設

2005 ジャスダック証券取引所に上場

2011 10月、英国に IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE を開設 (現 IMV EUROPE LIMITED)

1月、タイに IMV (THAILAND) CO., LTD. (子会社)を設立





IMV EUROPE LIMITED

IMV (THAILAND) CO., LTD.

11月、ドイツに IMV CORPORATION German Sales Office を開設 (現 IMV EUROPE LIMITED German Sales Office)

2013 5月、IMV株式会社 上海代表所を設立



IMV EUROPE LIMITED German Sales Office



IMV株式会社 上海代表所

経営理念





IMVが見守る未来

IMVは1957年の設立以来、振動問題の ソリューションパートナーとして さまざまな分野と携わってきました。 これからも、製品→パートナー→社会に対して、 信頼を形にする企業であり続けます。

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

IMV work with our customers and investors to secure their future, developing the products, skills and resources that will bring success. IMV appreciate this and work fast to meet our Partners'future needs.

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

IMV treat our customers, suppliers and investors with the highest of integrity, dealing with all our partners in an open and honest manner. IMV work hard to earn and keep your trust.

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Our customers use IMV's products to ensure reliability and performance. We build this reliability into all our products and services. IMV will be there when you need us.

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

IMV's financial strength means we will be a long-term partner for our customers and able to invest in the research for new products. IMV have the strength in finances, products and people to serve our customers on a global basis. We have the strength to be the World's Number 1 Vibration Test and Measurement Company.

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。

IMV invest substantially in research to understand our Customers' needs and the products to meet those needs. IMV have been the first to market with many new products and technologies and we will continue to lead the market through technology and innovation for the benefit of our customers and investors.